

昨年度の赤い羽根 共同募金運動への 参画状況	該当する項目にチェック		
	該当する項目にチェックしてください。（家庭での寄付は除く。）		
	☐ 募金活動全般	☐ 学校・職場単位での寄付	☐ 募金箱の設置
	☐ 街頭募金に参加	☐ イベントでの募金呼びかけ	☐ 機関紙等での呼びかけ
	☐ その他（具体的に	) ☐ 特になし	

令和9年度 赤い羽根共同募金地域配分金助成金 事業計画書

事業名	〇〇事業（事業内容に合った事業名）		
実施場所	総合福祉センターや公民館など		
連携する団体等	〇〇ボランティア団体、当事者団体、〇〇学校、〇〇自治会、民生委員など		
実施予定回数	〇〇回	参加予定人数	〇〇人
事業内容	↓ 地域福祉の向上を目的とした活動、地域福祉コミュニティづくりのための活動、地域住民の要請と時代に即した事業を記入 【例えば】 ①障がい理解を深める研修会の実施。障がい当事者や支援者を講師に招き、「障がいのある人と共に暮らす地域づくり」をテーマに講演会を開催。 ②「いきいきシニア体操教室」の開催。転倒予防体操、ストレッチ、軽い筋力トレーニング、姿勢改善などを行う。 ③ひきこもり状態の若者が安心して参加できる少人数の交流会を月2回開催。 ④地域の犯罪抑止を目的とした夜間活動の強化。パトロール用品、反射材、LEDライトの購入 ⑤月2回、地域の子ども食堂で食事提供と学習支援を同時に実施。		
期待できる効果	①障がいのある人の地域参加が促進される。住民が「ちょっとした配慮」で参加を支えられることを知り、共生の意識が高まる。 ②高齢者の筋力維持・転倒リスクの低減。外出機会の増加、参加者同士の交流が生まれ、地域のつながりが強まる。 ③若者の社会参加への第一歩を支援。孤立の緩和と、地域の理解促進。 ④地域住民の安心感が増し、防犯意識が高まる。パトロールを通じて、地域の見守りネットワークが強化される。 ⑤子どもの居場所づくりと学習機会の確保。		
来年度以降の継続的な取組みに関する意向等	①障がい者団体と協働した啓発活動を継続する。 ②地域の公民館・自治会と連携し、複数会場での開催を検討。 ③将来的には、当事者が運営に関わる形で自走化を目指す。 ④地域の若者や企業ボランティアの参加を促し、活動の幅を広げる。 ⑤学生ボランティアの募集を継続し、年間を通じた学習支援体制を確立。		
その他特記事項			

令和9年度 赤い羽根共同募金地域配分金助成金 収支予算書

【収入の部】

区 分	金 額	備 考
助成金	30,000 円	赤い羽根共同募金の助成要望金額を記入
その他の収入	20,000 円	参加費〇円（〇円×〇名） 寄付金〇円（個人、団体からの寄付） バザー売上金〇円
	円	
合 計	50,000 円	

↑ 収入合計と支出合計が同額となるように記入して下さい

【支出の部】

区 分	金 額	備 考
消耗品費	10,000 円	コピー用紙、事務用品等
印刷製本費	10,000 円	啓発用チラシ代、資料・写真の印刷代
通信運搬費	2,000 円	切手代、ハガキ代
講師謝金	20,000 円	個人や団体への謝礼金
旅費交通費	8,000 円	講師旅費
	円	
	円	
	円	
合 計	50,000 円	

↑ 収入合計と支出合計が同額となるように記入して下さい

- 注）
1. 支出の部の合計額は、助成金交付額以上でなければなりません。
 2. 支出の部の区分欄は、事業実施に必要な項目を記入してください。
 3. 備考欄には、内訳などを記入してください。
 4. 収入と支出の合計額は、一致するようにしてください。

令和9年度 赤い羽根共同募金地域配分金助成金 交付決定通知書

共同募金会新居浜市支会から申請団体へ通知します。

三

様

愛媛県共同募金会新居浜市支会
支会長

赤い羽根共同募金地域配分金助成金につきましては、次のとおり決定しましたので通知いたします。

助 成 金 額 円

助成対象事業名

助成対象事業実施期間 年 月 日 ～ 年 月 日

※本通知に基づき交付される助成金は地域配分金助成実施要項の定めにより、原則として事業完了後、次の書類の提出が行われた後、交付いたします。

- | | | | |
|-----|----|------------------|-------|
| (1) | 年度 | 赤い羽根共同募金地域配分金助成金 | 請求書 |
| (2) | 年度 | 赤い羽根共同募金地域配分金助成金 | 事業報告書 |
| (3) | 年度 | 赤い羽根共同募金地域配分金助成金 | 収支決算書 |

令和9年度 赤い羽根共同募金地域配分金助成金 請求書

提出日を記入 →

〇年 〇月 〇日

愛媛県共同募金会新居浜市支会
支会長 白石 敦之 様

団 体 名 _____
代表者職氏名 _____ 印
所 在 地 〒〇〇〇-〇〇〇〇
新居浜市〇〇町〇〇-〇〇
TEL 〇〇-〇〇〇〇
FAX 〇〇-〇〇〇〇

事業が完了しましたので、次のとおり赤い羽根共同募金地域配分金助成金を請求します。

↓ 収支決算書（第7号様式）と同じ金額を記入

1 金 額 _____ 〇〇円

2 事 業 名 _____ 〇〇事業

↑ 事業計画書（第2号様式）と同じ事業名を記入

3 振込先口座

金融機関名	伊予 銀行・農協・信用金庫 新居浜 支店・支所
預 金 種 別	(1) 普通 (2) 当座
口 座 番 号	0 1 2 3 4 5 6
預 金 口 座 名	フリガナ ニイハマシ〇〇ダントアイ ダイヒョウ ニイハマタロウ 新居浜市〇〇団体 代表 新居浜太郎

注1) 1. 通帳のコピーを添付のうえ、振込先口座を記入してください。
2. フリガナは金融機関へ提出しているものと同じ表記としてください。

事業名	〇〇事業（事業内容に合った事業名）			← 第2号様式に記載した事業名を記入	
実施期間	令和9年 〇月 〇日 ～ 令和〇年 〇月 〇日				
実施場所	総合福祉センターや公民館など				
連携した団体等	〇〇ボランティア団体、当事者団体、〇〇学校、〇〇自治会、民生委員など				
実施回数	〇〇回	参加人数	〇〇人		
事業内容	【例えば】 ①障がい理解を深める研修会の実施。障がい当事者や支援者を講師に招き、「障がいのある人と共に暮らす地域づくり」をテーマに講演会を開催。 ②「いきいきシニア体操教室」の開催。転倒予防体操、ストレッチ、軽い筋力トレーニング、姿勢改善などを行う。 ③ひきこもり状態の若者が安心して参加できる少人数の交流会を月2回開催。 ④地域の犯罪抑止を目的とした夜間活動の強化。パトロール用品、反射材、LEDライトの購入 ⑤月2回、地域の子ども食堂で食事提供と学習支援を同時に実施。				
実施による成果	①障がいのある人の地域参加を促進することができた。住民が「ちょっとした配慮」で参加を支えられることを知り、共生の意識を高めることができた。 ②高齢者の筋力維持・転倒リスクの低減。外出機会の増加、参加者同士の交流が生まれ、地域のつながりを強めることができた。 ③若者の社会参加への第一歩を支援することができ、孤立の緩和と、地域の理解促進に繋がった。 ④地域住民の安心感が増し、防犯意識を高めることができた。パトロールを通じて、地域の見守りネットワークの強化を図ることができた。 ⑤子どもの居場所づくりと学習機会の確保することができた。				
「はねっと」 ありがとう メッセージ (300字以上)	参加者の声やご担当者の感想をご記入ください。（300字以上）				
その他特記事項					

事業活動の様子

写真貼付

(コメント：写真の内容を簡単に記載してください)

写真貼付

(コメント：写真の内容を簡単に記載してください)

- 注) 1. 活動中のカラー写真を2枚以上添付してください。
(社協ホームページ等に掲載する場合があります。)
2. 写真の下に内容がわかる説明文を記入してください。
3. チラシ、冊子などの印刷物などがある場合は添付してください。



次の例文（助成金の使途明示）を記載した「チラシ、案内文書、研修会資料、ホームページ記事など」を一緒に提出する必要があります。

（例文）この事業は、皆様からお寄せいただいた赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。

令和 9 年度 赤い羽根共同募金地域配分金助成金 収支決算書

【収入の部】

区 分	金 額	備 考
助成金	30,000 円	赤い羽根共同募金の助成要望金額を記入
その他の収入	20,000 円	参加費〇円（〇円×〇名） 寄付金〇円（個人、団体からの寄付） バザー売上金〇円
	円	
合 計	50,000 円	

↑ 収入合計と支出合計が同額となるように記入して下さい

【支出の部】

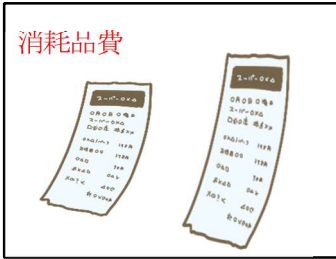
区 分	金 額	備 考
消耗品費	10,000 円	コピー用紙、事務用品等
印刷製本費	10,000 円	啓発用チラシ代、資料・写真の印刷代
通信運搬費	2,000 円	切手代、ハガキ代
講師謝金	20,000 円	個人や団体への謝礼金
旅費交通費	8,000 円	講師旅費

↑ 支出にかかる全ての領収書のコピーを添付してください

【報告時のポイント】

レシートや領収書は費目ごとに整理をお願いします

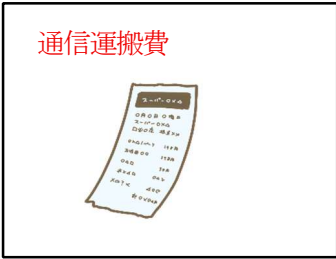
消耗品費



講師謝金



通信運搬費



合 計	50,000 円	
-----	----------	--

↑ 収入合計と支出合計が同額となるように記入して下さい

- 注)
1. 支出の部の合計額は、助成金交付額以上でなければなりません。
 2. 支出の部の区分欄は、事業実施に必要な項目を記入してください。
 3. 備考欄には、内訳などを記入してください。
 4. 収入と支出の合計額は、一致するようにしてください。
 5. 助成金により実施した事業に関係する領収書のコピーを添付してください。